



けやきよ…

発行者

校長 西内英理

2学期、猛暑から極寒へ…、そしてコロナ…。

この2学期がスタートした頃は文字通り「猛暑」でした。今は、朝晩の冷え込みも厳しく、大雪に見まわられている地域もあります。まさに、長い「2学期」を感じさせる自然界の変化です。

学校でも、可能な方法を模索しながら、様々な学校行事を実施して参りました。例年通りの内容等で実施することができなかつたとはいえ、限られた条件の中で生徒たちは様々なアイディアを出し、意義のある学校行事を作りあげてくれました。その努力と功績は、ただただ讃えるばかりです。

本日の終業式では、生徒たちに次のような話をしました。

- 122日間の2学期。84日の登校日があり、皆さんは授業に熱心に取り組んだ。また、様々な学校行事を通して、各学級の団結は深まり、皆さん一人一人も確実に成長してきたことと思う。
- 相も変わらずテレビ等では、コロナウイルス感染症のニュースが、連日報道されている。特に今月に入ってから、全国的に感染者が急激に増加し、福島市や郡山市では数々のクラスターが発生するなど、その広がりには拡大する一方である。
それらに比べると私たちのいわき市は、ずいぶんと落ち着いてるとはいえ、いつなんどきに感染が広がるかは全く予測ができないし、油断することもできない。
- 「各個人で考えられる感染予防対策は、全部やってください。」と東京都医師会長が先日の記者会見で言っていた。3密、ソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗いうがい、不要不急の外出をしないなど、皆さんも考えられる予防策を全部しっかりと行い、自分や家族の健康をしっかりと守る努力をしてほしい。
- このコロナ感染症の話をする時に、いつも必ず言っているのは、不幸にも感染してしまった人たちへ偏見を持ったり、誹謗中傷をしたりということは、絶対にしてはいけないということ。ウイルスに感染してしまった人やその家族、知人らは、私たちが想像できないほど苦しんでいると思う。また、ウイルスに感染した、あるいは家族が感染したという理由で、本人は検査の結果陰性であったにもかかわらず、友達から虐げられるようなことがあってはいけない。人として、他人の身体的な苦痛はもちろん、心の痛みも分かってあげられる人になってほしいと思う。
- 2週間弱という短い冬休みだが、新年を迎え、令和3年となる区切りのいい時期。自分なりの新年の誓いを立て、新しい自分に生まれ変わるチャンスでもある。
最後になるが、3年生の諸君、いよいよ大切な時期。希望する進路実現に向けては努力を惜しまず、がんばってほしい。

終業式の中で生徒たちにも話をしましたが、コロナウイルス感染症が広がりを見せております。年末年始ということで、来客や他地域への訪問の機会も多くなると思います。その際には、マスクの着用やうがい手洗いの徹底など、十分な感染対策をとるようお願いいたします。